

おばなざわ

新緑に囲まれて

目次

- 2 … 市重要事業要望活動
- 4 … トピックス・市長コラム
- 6 … おばなざわ日記
- 8 … みんなのページ
- 10 … お知らせ
- 12 … おばねの方言かるた

令和2年
6月
No.824

第2回 とうべつ れんさい きかく 特別連載企画
ほうげん おばねの方言かるたをつくってあそぼう!

～製作：尾花沢市むかしを語る会「いろり」 イラスト(原画)：ふるせ しおり～

おばなざわ ほうげん つか おもしろ しほう かい しょうかい
尾花沢の方言を使った面白いかるたを市報で8回にわたって紹介するよ。
ぜんぶあつ よ ふだ まい えふだ まい かんせい
全部集めて読み札45枚と絵札45枚を完成させよう。

<p>「標」つかれたつかれた 重たい荷物 どっこいしょ</p> <p>こ こわえちゃこわえちゃ もったい荷物 どっこいしょ</p>		<p>「標」じゃけんほん で決める おにここの鬼</p> <p>き 「きききききききききき」 で決める へめつくら鬼</p>	
<p>「標」カキかけて よっぱらいが来る前に 急いで寝よう</p> <p>さ さんかげで よっぱらいの来なつづ わらわら寝んべ</p>		<p>「標」泥水のごんご あそんで 泥だらけ</p> <p>く ぐじやうで あそんで ごだまみれ</p>	
<p>「標」昔から 子どもたち見守る 地蔵様</p> <p>し しよっでんから わらすだ見守る ずんぞさま</p>		<p>「標」ビリだつて いいからがんばれ 運動会</p> <p>け げつぺだて ええさげがんばれ 運動会</p>	

- 遊ぶ方
- 好きな色をぬろう
 - はさみで切ってみよう
 - かるた完成！遊んでみよう

市の人口と世帯

6月1日 現在	前月比	先月中の動き (届出件数)
男 7,662人	(-1)	出生 …… 6人
女 7,915人	(-24)	死亡 …… 24人
計 15,577人	(-25)	転入 …… 16人
世帯数 5,417戸	(-8)	転出 …… 23人
		婚姻 …… 1組

表紙

新緑に囲まれて

見渡す限りの山々は萌え、川べりの木々も成長し、田植えの終わった水面には里山の景色が映り込んで、いつの間にか市内は緑に囲まれた初夏の風景に様変わりしています。
徳良湖も森林浴には良い季節。新緑の下を歩き、松林の間を通り抜ける風を受ければ、身も心もすっきりできそうです。(5月24日徳良湖にて)

市重要事業

要望事項

市では第6次総合振興計画「元氣おぼなざわ創造プラン」や、「尾花沢市総合戦略」に基づく各種施策を実現するため、国や県に対し、来年度の各省庁の概算要求前の時期に合わせて、制度の改正等を23項目要望しました。



5月21日、菅根市長と大類市議会議員が、吉村山形県知事に要望書を手渡しました。また、国土交通省山形河川国道事務所に対しても、要望活動を行いました。

河川流下能力向上事業の促進について

河川の治水安全度の向上を図るため、土砂浚渫及び支障木の伐採等の事業を促進すること。

市の河川は、経年により土砂が堆積したり、支障木が繁茂したりして、川の流れに影響を及ぼしている箇所が多数あります。平成30年8月の豪雨の際には、アメダス観測史上最大となる大雨に見舞われ、8月中3度も土砂災害警戒情報が発令される異常事態にもなりました。頻発する豪雨による土砂等の堆積は洪水を助長する原因となり、市民生活を脅かす要因になりかねません。河川の治水安全度の向上を図るため、土砂浚渫・支障木伐採等事業が促進されるよう、要望しました。

農山村集落の振興

有害鳥獣対策支援センターを新設し、広域連携による効果的で速効性のある対策を講じること。

市ではサルやクマ、イノシシなどによる農作物への被害拡大や人的被害の発生が懸念されています。有害鳥獣被害対策協議会を中心に、追い払い活動や簡易電気柵の導入推進などの対策を進めていますが、被害が移動するなど、根本的な対策にはなっていないのが実状です。このため、本県における有害鳥獣対策に関する情報の収集、共有、発信、指導の拠点となる山形県有害鳥獣対策支援センターを新設し、広域連携による豪雪地帯に適した、効果的で速効性のある対策を講じるよう、要望しました。

地域交通網の維持に向けた取り組みへの財政支援

高齢者思いやりタクシー、福祉タクシーについて財政支援を行うこと。

本市では、地域のタクシー業者と連携しながら、75歳以上で普通乗用車運転免許証を持たない高齢者を対象にタクシー料金の一部を助成する「高齢者思いやりタクシー事業」、障がい者を対象にタクシー料金の一部を助成する「福祉タクシー事業」を実施しています。高齢者や障がい者の移動手段を確保するとともに、持続可能な地域社会の構築に必要な地域交通網を維持するため、本市が取り組んでいるこれらの事業に対し、財政支援を行うよう、要望しました。

その他の主要な要望事項

市民の安全・安心に関すること

- ・ 消防防災施設整備事業に係る補助対象設備の拡充
- ・ 国道347号北町地内十字路への交通安全施設（信号機）の整備促進

地域の発展に関すること

- ・ 地方交付税の総額確保と財源保障機能の維持
- ・ 一般国道347号の24時間通行通行促進及びバイパス化などの改良整備促進
- ・ 過疎地域における企業振興策の充実
- ・ 老朽化した公共施設の解体経費に対する財政支援

医療に関すること

- ・ 子育て支援医療制度の拡充
- ・ 診療所運営経費への財政支援
- ・ 国民健康保険制度への財政支援と充実強化
- ・ 北村山公立病院への財政支援

産業に関すること

- ・ 既存企業が積雪の量に左右されず安定した経営を図れるよう、除雪費用への助成
- ・ 本市の基幹産業である農業・農村の振興が図られるよう、各種制度の継続・拡充

社会基盤の整備に関すること

- ・ 雪国の安全・安心な暮らしを守るため、雪対策に対する財政支援の拡充
- ・ 東北中央自動車道の建設促進
- ・ 市道・県道の整備促進
- ・ 一級河川沢の川の河川改修
- ・ 土砂災害対策事業の整備促進
- ・ 流雪溝への導水に伴う水利権の許可
- ・ 一般県道東根尾花沢線の改良整備
- ・ 道路（橋梁）等長寿命化対策に係る点検診断費用への財政支援

あげられた市の課題



- ① 子どもを安心して産み育てられる環境を整備することは本市の重要課題。
- ② 地震と火災に強いまちづくりを進めるため、耐震性が高く、豪雪地帯でも支障なく使用できる消防設備の充実を図ることが急務。
- ③ 雪対策には流雪溝整備などのほか、地域を挙げた除雪体制の整備が重要。
- ④ 一般国道347号は、山形・宮城両県の発展、交流や産業振興に大変重要な役割を担っている。さらには災害時での通行ルートとしても重要。
- ⑤ 子どもたちが田植えを体験。市の基幹産業である農業の維持と担い手育成、農山村集落の振興策も重要な課題。

尾花沢大石田管工事協同組合



組合加入の13社の皆さんより寄附金30万円を寄贈されました。

尾花沢市建設業協会



「市民に少しでも貢献できれば」と会員18社の皆さんで200万円の寄附金を寄贈されました。

トピックス TOPICS 4

新型コロナウイルス感染症対策にたくさんの寄附をいただきました。皆さん誠にありがとうございました。

※敬称略・順不同
※6月2日時点での寄附を掲載しています。

JAみちのく村山尾花沢地区女性部貸衣裳室



未来ある子どもたちに少しでも役立てればと市内全小中学校へ不織布マスク4,220枚寄贈。

齋藤塗装



児童福祉施設へ不織布マスク1,000枚、500mlの消毒液24本を寄贈されました。

(株)TKC



新型コロナウイルス感染症対策に役立ててほしいと寄附金200万円を寄贈されました。

商工スタンプ会



市内小中学校と市教育委員会へ不織布マスク800枚を寄贈されました。

(有)清藤鉄工所



新型コロナウイルス対策に役立ててほしいと不織布マスク6,000枚を寄贈されました。

(有)手塚建材



新型コロナウイルス対策に役立ててほしいと医療用マスク1,000枚を寄贈されました。

トピックス TOPICS 1

令和2年春の叙勲
須貝 孝氏(名木沢3)

須貝孝氏(名木沢3)が地方自治功勞により「旭日双光章」を受章され、5月19日に市役所で叙勲伝達式が行われました。

須貝氏は平成10年7月から6期21年の永きにわたり、尾花沢市議会議員を務められ、議長、副議長、監査委員等を歴任し、議会の円滑な運営と本市の発展に多大な貢献をされました。

これまでのご功績に敬意を表し、今後益々のご活躍をお祈りいたします。

※旭口章：国家または公共に対し功勞があり、特に顕著な功績をあげた方に授与される章です。



勲章と勲記を手にする須貝氏

トピックス TOPICS 2

厚生労働大臣特別表彰
鈴木 理矩治郎氏(新町東)
岸 洋一氏(下原田)

両氏は平成13年から18年間にわたり、民生委員・児童委員として地域住民の抱える問題の解決に努められました。一人暮らしの高齢者の困り事や地域住民の様々な相談を受けてきた18年間の活動を振り返り、「たくさんの方との出会いがあった。」と述べられました。これまでのご活躍に敬意を表し、今後益々のご活躍をお祈りいたします。



左から鈴木氏、岸氏

トピックス TOPICS 3

警察署より感謝状贈呈
有路 成信氏(三日町)

5月11日、有路成信氏(三日町)が、青パト活動中に高齢男性を保護して人命救助に尽くしたとして尾花沢警察署長より感謝状を贈呈されました。

4月23日、有路氏は畑沢地内で雨に濡れながら自転車漕ぐ高齢男性を発見。声をかけたところ認知症の疑いがあると感じ、警察署まで送り届けました。

署長は、「ごさの行動と瞬時の判断で人命救助につながった。警察として人命救助に感謝します。」と述べられました。



感謝状の贈呈を受けた有路氏(写真左)

市内では田植えも終わり、早苗を通りぬける風が爽やかに感じる季節となりましたが、市民の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、3月末からの県内での新型コロナウイルス感染症との戦いは、ようやく緊急事態宣言が解除され、徐々にではありますが平時の生活を取り戻す道筋がみえてきました。6月に入り、学校でも通常の授業を始めることができるようになったことは、市民の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

これまで講じてきた市独自の対策や特別定額給付金の振込も順調に進んでおります。今後も市民の皆様がいち早く通常の生活に戻るための第3弾、第4弾の支援事業に取り組みまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

以前のような生活に戻るには、新しい生活様式を取り入れながら徐々に平時の生活を取り戻していく必要があります。そのためには、第2波、第3波の感染拡大がないことを願わずにはいられません。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、全国的に経済活動が停滞しています。本市でも、特産品である尾花沢牛の消費が低迷しておりますが、消費拡大につながる各種支援事業を展開し、経済活動が活気づくよう努めてまいります。これから旬を迎える「尾花沢すいか」についても全国にお届けできるよう、私もトップセールスで積極的にPRしてまいります。

引き続き市民一丸となって、この局面を乗り越えていきたいと思います。



市長コラム

尾花沢市長 菅根 光雄

**子どもたちの登校を見守る
交通安全 街頭立哨**

5月11日に菅根市長や尾花沢警察署長らが街頭に立ち、子どもたちの登校を見守りました。
この日から、新型コロナウイルスと感染症対策のため休校していた市内の小中学校が再開となり、子どもたちは元気に通学。新1年生も登校班に加わり、黄色いカバールのランドセルを背負ってお兄さんお姉さんについて行く初々しい姿が見かけられ、通学路は爽やかな挨拶で賑わいました。



**宝栄牧場入牧式
「モ〜待ちきれない!」**

快晴の5月28日、玉野地区の宝栄牧場で入牧式が行われました。主に肉用牛80頭が入牧。検査を終えた牛たちは、ゲートが解放されると「モ〜待ちきれない!」とばかりに草原へ飛び出していきました。宝栄牧場は標高420〜620mの高地にあり、5月〜10月の平均気温が16度と牛には過ごしやすい気候です。10月下旬の下牧式まで、牛たちは約88haの広大な牧草地で伸び伸びと過ごします。

5月31日オンライン全国移住フェアに出展しました!

定住応援課では毎年、首都圏等で行われる移住フェアに出展し、尾花沢市の魅力をPRしています。今年は新型コロナウイルスの影響で移住フェアが開催されない状況のため、今回初めてオンラインの移住フェアに出展しました。今後も尾花沢市に興味を持ってもらえるような取り組みを続けていきます。



おばなざわ日記 Diary

あなたのまわりの、身近な話題や出来事などをどしどしお寄せください!

☎ 総合政策課 ☎ 22-1111

**玉野小学校で田植え体験
お米ができる過程を学ぼう**

食農教育活動の一環で毎年行われている玉野小の田植え体験が今年も行われ、5年生12人が実習田にヒメノモチの苗を植えました。
JAみちのく村山尾花沢青年部の皆さんの指導の下、昔ながらの手植えを体験。木枠を転がし、苗を植える場所の印をつける作業では、4人一組で泥の中を掛け声をかけながら力を合わせて押していました。秋には稲刈りや餅つき体験も行う予定です。



**地元で生まれた「幻の米」
宮沢小学校で田植え体験**

6月1日、宮沢小5・6年生8人が、小学校前県道沿いの田んぼで田植えを体験しました。
植えた苗は昭和35年に尾花沢で誕生した「ごわのはな」。栽培が難しいなどの理由で作付けが減少し「幻の米」ともいわれていますが、宮沢では原種保存や米の活用などに積極的に取り組んでいます。
子どもたちは農事組合法人「魁」の皆さんの指導を受けながら、初めての田植えを楽しんでいました。

**常盤小学校 ワラビ採取
大収穫で大満足**

5月29日、常盤小の1〜6年生が鶴子地区の本間仁七さんのワラビ園でワラビの採取体験を行いました。ワラビ採取は鶴子小と常盤小の統合に伴い、両校の児童たちの交流を目的に昨年からはまったイベントです。
子どもたちは慣れた様子でワラビを次々収穫し、袋に入りきららないほど収穫した子もいました。晴天の中、広大な自然を思う存分満喫し、大満足の様子でした。



**里山の恵みをお届け!
ほその村「ふるさと定期便」**

細野地区では、地区民による「清流と山菜の里ほその村」を組織し、地元の自然を活かした様々な活動を行っています。その一つに、細野地区で育てた米や季節の食材をセットにして、年4回希望者に発送する「ふるさと定期便」があり、5月11日に発送作業を行いました。オール細野産の食材を味わってみたい方はぜひ「清流と山菜の里ほその村」☎(28)3736までお問い合わせください。

ACCESS My Class

アクセス マイクラス

番外編

玉野放課後児童クラブ

1～4年生26人



福原中学校3年 戸津 煌さん (荻袋2)

「常に挑戦して成長が止まることのない未完成である生徒会」

「繋翔」受け継ぎ、次に繋げ、そして常に変わり続ける未完成な生徒会。福原中生徒会の皆さんが追い求めている生徒会活動です。

7人の福原中生徒会執行部をまとめているのが生徒会長の戸津煌さん。生徒会活動で特にこだわりたいところは、小さな学校でも大きい学校に負けない活動、福原中独自の活動だそうです。そのためにあいさつや合唱、ボランティアなど具体的な取り組みを生徒会の皆さんとたくさん考えています。

例えば「福原中メディア定義。これは、ゲーム、テレビ、スマホ等のメディア全体の使用時間の制限や、勉強中はしないこと、ノーゲームデーを設けること等の決まりを生徒会総会の全体協議で話し合い、決めた事をみんなで守るというものです。」

「でも、反対の人もいるからどういう風に決まるかわからない。」と戸津さんも週週に控えた生徒会総会を楽しみにしている様子。提案した本人の想像を超えてみんなの考えでつくりあげ、成長していく、それが戸津さんの求める「未完成の生徒会」の姿なのですね。

「元気いっぱい楽しいクラブ」

玉野放課後児童クラブは、玉野小学校の1～4年生26人が在籍しています。子ども達は放課後、勉強したり、皆で遊んだりしながら過ごしています。

取材に訪れると、子どもたちは宿題をしたり、本を読んだりしていました。本を読んでいる子ども達に将来の夢を聞いてみると、「美容師」「農家」「カメラマン」「忍者」と元気いっぱいに教えてくれました。十人十色の夢を持った子ども達が楽しそうに遊んでいるクラブでした。

先生からのひとこと

代表 横澤 敏美先生
指導員 加藤 夏実先生

今年から新しいお友達も増え、旧玉野中学校へ引っ越し、児童クラブを運営しています。自分、そして友達を大切に、新しい発見や挑戦に取り組んでいきましょうね！

食育レシピ

～郷土料理を味わう～

第1弾 暑い夏を乗り切る! 『しょうゆご飯・冷や汁・きゅうりもみ』

夏野菜を上手に使った素朴な味の料理です。夏の暑い日、食欲がないときの最高のご馳走! しょうゆご飯と冷たい料理の取り合わせに、先人の知恵がしのべられます。



◆ 材料 2人分 ◆

【しょうゆご飯】
もち米……1カップ
醤油……小さじ4
削り節……少々

【冷や汁】
きゅうり……1/2本
みず(山菜)……少々
しその葉……2枚
みそ……大さじ1弱

【きゅうりもみ】
きゅうり……1本
枝豆……大さじ1
豆豉……2g
酢……大さじ1/2
砂糖……大さじ1/2
塩……ひとつまみ

◆ 作り方 ◆

【しょうゆご飯】
①もち米をとき、前日から水につけておく。②ザルにあげて炊飯釜に入れ、分量の醤油を入れた後に水加減を調整し、削り節を加えて普通に炊く。③炊いた後に枝豆などの青みを加えると、彩りがよくなります。

【冷や汁】
①すり鉢にみそと半量のしその葉をちぎって入れ、よくすり、水適量(みそ10gに対して水150～200cc)を入れて味を調べ、冷しておく。
②きゅうりを薄い輪切りにする。(切り方は好みでOK)
③みずはすりこぎで少したたき、2cm長さに切る。
④①に②、③、せん切りした残りのしその葉を加えて出来上がり。食べ慣れないお子さんにはハムのせん切りや、かにかまをほぐしたものなどを加えると食べやすい。

【きゅうりもみ】
①きゅうりは皮を数か所むき、薄い半月切りにして塩少々をまぶし、10分くらい置いたら水気をしぼる。②枝豆はゆでて、さやから出しておく。③豆豉は水につけてやわらかくもどす。④調味料を合わせ、①、②、③を和えてできあがり。冷凍の枝豆を使うと、手軽に作るができます。
※①でむいた皮を細かく刻んで冷や汁に入れれば、食品ロスを防ぐこともできます♪

参考:「尾花沢地方の行事食」P.100

Letter from Metropolitan Area 首都圏だより

首都圏尾花沢会 会長
森山 馨さん
東京都葛飾区(押切出身)



知人より筒が届きました。土がついた掘りたての筒は、みずみずしく生命感にあふれ良い香りがします。コロナ禍の中、妻は仕事が休みとなり、娘はテレワーク、息子はリモート授業と楽しい状態だっただけに、旬のたよりは家族の気持ちになごませます。閉塞感がただよう中では、人の優しさがいっつも増してありがたく感じます。今年は、知人へのお返しはもちろんのこと、知人を見習ってお世話になった方たちに美味しい尾花沢スイカを贈ろうと思います。人の移動が抑制されがちです。その分、物を動かして微力ですが経済の循環にも貢献したいと思えます。

話しは変わりますが残念なお知らせがあります。今年の9月27日に予定しておりました首都圏尾花沢会の総会を中止とします。緊急事態宣言は解除されましたが第2波、第3波が心配されます。会員とご来賓の皆様様の安全を考え決めました。来年こそは盛大に開催したいと思えます。



インターネット販売を応援

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を打開するため、新たな販路拡大策を検討する方々を支援。

■対象／新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている農林漁業者(団体含む)、先の農林漁業者と連携する食品製造業者、小売業者等

■内容／新たに農林水産物(加工品含む)のインターネット販売を検討する方のウェブサイトを作成し、登録料等を補助率2分の1で上限25万円を助成。

■期限／6月30日(火)

◎農林課 特産品ブランド推進係
【内線152】

病児・病後児保育施設の愛称募集

市では、この夏より旧尾花沢幼稚園の園舎を活用し、病児・病後児保育施設を開設予定です。

市民の皆様並びに利用者の方々より親しまれるような、病児・病後児保育施設の愛称を募集します。

■募集締切／6月19日(金)

■応募方法／

(1)応募用紙に①住所②氏名③連絡先④愛称を明記のうえ、郵送、Eメール(kosodate@city.obanzawa.yamagata.jp)、Faxにて応募してください。また、市内保育施設でも受け付けています。

(2)応募用紙は市内保育施設、ABESA、市役所市民ホールに置いてあります。また、公式HPよりダウンロードもできます。

◎福祉課 子育て支援係【内線176】
〒999-14292
尾花沢市若葉町一丁目2番3号
Fax(24)0322

マイナンバーカード交付窓口延長日再開のお知らせ

新型コロナウイルス感染症対策のため中止していたマイナンバーカード交付窓口延長日を再開します。

■日時／6月30日(火)
午後8時まで

■場所／市民税務課 窓口

※当日午後4時30分までに、左記へ電話予約が必要です。

◎市民税務課 市民年金係
【内線134、135】

転作現地春確認を行います

令和2年度の転作現地春確認を6月22日(月)から7月21日(火)にかけて行う予定です。詳細及び確認カードは、農林課より対象農家へ郵送いたします。

◎尾花沢市農業再生協議会 農林課 水田宮農対策係
【内線147・149】

新規卒地元就職者激励 永年勤続優良従業員表彰

◎対象／

①令和2年3月に卒業し、市内に就職された方

②永年勤続優良表彰の基準(男子10年、女子5年)に該当し、未表彰の方

■申込締切／6月19日(金)

※事前のお申し込みが必要です。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、対象者の方への記念品等の贈呈は、後日郵送または持参等によりお渡しさせていただきます。

◎商工観光課 商工労政係
【内線254】
尾花沢市商工会 ☎(22)0128

労働保険の年度更新期間は6月1日～8月31日です

令和2年度労働保険(労災保険・雇用保険)の年度更新期間は6月1日(月)～8月31日(月)です。新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、年度更新期間について8月31日まで延長することとしました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業に係る収入に相当の減少があった事業主の方にあつては、申請により労働保険料等の納付を1年間猶予することができます。

労働保険の年度更新は管轄の都道府県労働局や労働基準監督署への郵送、または電子申請でも受け付けており、直接窓口に出向くことなく申告することが可能です。

レジ袋有料化 7月1日スタート

海洋プラスチックごみや地球温暖化対策の一環として、プラスチック製買物袋が全国一律で7月1日から有料化されます。

プラスチックの過剰な利用を抑制し、賢く利用していくために、「外出の際は常にエコバッグを携帯する」などご協力ください。

◎環境整備課 生活環境係
【内線262】

不動産無料相談会のお知らせ

空き家やその他お持ちの不動産について、専門家に相談してみませんか。

■日時／7月8日(水)
午前10時～正午

■場所／甄葉フラザ
(村山市榑岡五日町14-20)

◎(社)山形県宅建協会村山地区
☎023(62)9070(担当 森)

危険物取扱者保安講習を開催します

■日時／10月13日(火)
給油：午前9時～正午
・一般：午後1時30分～午後4時30分

■場所／村山総合支庁 北村山地域振興局

■受付期間／6月22日(月)～7月17日(金)

※申請書は消防本部にあります。

◎消防本部 予防保安係
☎(22)11331

県介護支援専門員実務研修受講試験のご案内

■試験日／10月11日(日)
■時間／午前10時～

■場所／山形市内

※受験票交付時にお知らせします。

※受験資格／保健、医療、福祉の分野で5年以上かつ900日以上の実務経験がある人

■受験手数料／1万600円

■「受験の手引」請求方法／250円切手を貼った返信用封筒(角形2号)に郵便番号、住所、氏名を記入の上、左記へ郵送してください。

■受験申込方法／申込書に記入の上、郵送(簡易書留)で左記へ提出してください。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、「受験の手引」の請求や申込書の提出は郵送でのみ受け付けます。

■申込期間／6月8日(月)～6月30日(火)

調理師試験のご案内

■試験日／10月10日(土)
■時間／午後1時30分

■場所／山形県庁

■申込方法／各保健所生活衛生課(室)から願書を受け取り、最寄りの保健所へ持参する。

※山形市保健所を除く

■申込期限／6月26日(金)

◎県防災くらし安心部食品安全衛生課 食品衛生企画担当
☎023(30)2621

女性のための全国一斉労働相談ホットライン

パワハラ、セクハラ、未払い賃金など労働に関する電話相談に無料です。

■日時／6月15日(月)、6月16日(火) 午前10時～午後7時

■相談電話／☎0120(15)052

◎連合山形 ☎023(62)0555

労働保険の電子申請手続きはこちらから



「電子政府の総合窓口」
(https://www.e-gov.go.jp/)
※ご利用にはマイナンバーカードまたは電子証明書の取得が必要です。

◎山形労働局
☎023(62)8225



■郵送先／〒990-0021
山形市小川町二丁目3-30
山形県小川庁舎1階山形県社会福祉協議会人材研修部人材係
◎県社会福祉協議会
☎023(62)2776



○尾花沢小学校へ
●キャラバンテント 1張
(令和元年度卒業生一同)